



糖尿病患者さんの
フットケア
はじめの一步

監修：安酸史子 / 福岡県立大学看護学部教授・学部長

日本靴医学会

URL <http://www.kutsuigaku.com/>

日本靴医学会

会員のページ

会員専用のページ
ID・パスワード請求

役員のページ

役員専用のページ
役員のID・パスワードを使ってご覧下さい

一般の方へ

日本靴医学会とは？
足と靴のQ&A
靴選びのQ&A
幼児の靴選びのQ&A
足のトラブルチェックリスト

お役立ち情報BOX
本の紹介 NEW!
専門の医師をお調べします
掲示板
関連リンク

会員および入会希望の方へ

日本靴医学会とは
入会案内(会員資格など)

NEWS

NEW! ★ NHKテレビ「今日の健康」に当会理事長が出演 ★

平成17年度の学会発表内容を掲載しました。
第20回日本靴医学会開催日程決まる
当会理事がI.V.O.(10月23日)で基調講演
E-mailアドレスについてのお願ひ
会員募集しています。
「靴の医学」に掲載する原稿を募集
「靴の医学」Vol.19-1発送しました
会員用の掲示板が使いやすくなりました。ご利用下さい。
ID・パスワード発行しています。ご請求ください

学会理事長 井口 傑先生から ひとこと



日本靴医学会は昭和62年1月に設立、現在の会員数約700名。医師が約半数で、それ以外に工学系の人や義肢装具士、理学療法士、作業療法士、看護師、看護教員、シューフィッター、靴のメーカーの方々が会員となっています。

近年、糖尿病の内科的治療が進歩し、生命予後が改善したため、かえって足部に潰瘍や壊疽を生じる糖尿病足が増加しています。この糖尿病足に対して、靴は予防ばかりでなく、治療や再発防止にも重要な役割を果たします。糖尿病足の靴に対する注意点としては、知覚麻痺により防御反応を失った足を靴による障害からいかに守るかにつきます。不幸にして潰瘍を生じて、感染を起こして悪化させなければ治療靴で治療できる可能性が十分にあります。当学会のホームページでは、糖尿病で変形を生じた足にも、靴をフィットさせて固定することで安静を図り、圧を分散させて潰瘍を予防するといった、治療靴を処方できる医師の紹介もしています。